日本の心を未来へつなぐ——

伊勢の神宮とその遷宮

皇学館大学名誉教授・白山芳太郎・講演会



伊勢の神宮では20年に一度という定められた年を式年と呼び、
新しい宮を建てて神体を遷します。1300年前から始まるこの制度を
式年遷宮といい、内宮・外宮と14別宮で行います。
この式年遷宮にあたり、前後8年にわたって33の祭りを行います。
中には天皇が日時を定められる祭りや旧神領民が参加する祭りもあります。
それらも古式のままに新しくするという古くて新しい蘇りの祭りとして実施します。
そのような伊勢の神宮について考察します。

全3回 講座のご案内

会場：御堂会館会議室

1	11月16日（月） 午後1時半～3時	伊勢の神宮とその式年遷宮
2	12月15日（火） 午後1時半～3時	新宮づくり
3	1月20日（水） 午後1時半～3時	神宝と御装束

講師プロフィール

皇学館大学名誉教授・白山 芳太郎

昭和25年神戸市生まれ。文学博士。皇学館大学教授、
ロンドン大学Visiting Lecturer、東北大学大学院講師
などを経て、現在、皇学館大学名誉教授。

おもな著書：『神社の成立と展開』『古事記を読む』
『北畠親房の研究』『日本哲学思想辞典』『日本思想史辞典』
『日本思想史概説』『日本人のこころ』『日本神さま事典』
『仏教と出会った日本』『王権と神祇』など。



日本の原点、伊勢の神宮。その深い歴史と、受け継がれる心を
一緒に学びませんか。